

令和4年度 法人本部事業計画

社会福祉法人 青葉福祉会

一 基本理念

福祉の原点を「自分が幸せでありたいと思うこと。そして、大切な人に幸せであってほしいと願うこと。」と考え、生涯のどの時点においても自立に向かうための環境を提供する「生涯福祉」を理念とし、「乳幼児から終末まで」つながりを持った事業を展開し、幅広い分野の福祉活動を実施することによって地域福祉の向上に貢献する。

そのために、児童福祉事業では「子どもたちの尊厳と習慣を育む」、生活困窮者等の事業では「生活困窮者等の尊厳と習慣の再構築を支援する」、高齢者福祉事業では「お年寄りの尊厳と習慣をお守りする」を実践理念として、各事業を実施する。

二 目標

社会福祉法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保を図る。

当会が社会福祉法人の責務を果たし続けていくことは、地域福祉への貢献と同義と捉え、100年続く法人であることを目標とする。

三 戦略

1. 強固な経営基盤づくり
2. 人材育成と組織づくり

四 戦術（本年度の取り組み）

1. 収益力のUP、全事業黒字化

- ・法人全体のサービス活動収益対サービス活動増減差額率（サービス活動収支差率）を10.0%以上となることを目標とする。
- ・毎月の施設長会議において、施設の経営状況について確認と指導を行う。（施設長会議の在り方を見直す。）
- ・アルテイル24，三居沢デイサービスセンター、光陽ホーム事業の課題分析及び事業計画の再編成を行う。
- ・学生寮事業の収益改善を行う。

2. 法人資金の安定化

- ・本部資金として各事業所から適正額の繰入を行う。
- ・得た利益を効果的かつ効率的に運用するための管理を行う。
- ・各事業所の資金管理方法等について確認と指導を行う。
- ・各事業所の長期修繕計画を作成し、特に大規模修繕計画の内容と費用を整理する。

3. 法人災害対策 BCP の策定

- ・前年度に各事業所で策定した災害対策 BCP をより実効性の高いものにブラッシュアップする。
- ・包括的な法人全体の災害対策 BCP 策定に着手する。

4. 本部機能強化

- ・事務所スペースの改修など本部環境整備を行う。
- ・本部業務の整理と必要な人員配置を行う。
- ・経営企画室の在り方を見直し、チーム構成や構成員を含めて再編成を行う。
- ・経営幹部育成のために若手職員向け教育プログラムを策定し研修を行う。
- ・法人の現状や各種法令に沿った内容となるよう諸規程を見直す。
- ・ペーパーレス化を推進するにあたり、本年度は各事業所から提出される資料等の取扱いに対する検討を行う。
- ・本部で使用する各種データのデータベース化を開始する。

5. 法人理念の浸透

- ・誕生月研修等を通じて、職員が法人に愛着を持って自発的に行動するような組織づくりを目指す。
- ・虐待防止、不適切なケア、苦情解決の取組み、事故虐待防止について強化するための監査を行う。
- ・法人理念の実践に関する表彰等を行う。(第3回フォトコンテスト、理事長賞等)

6. 公益的取組の推進

- ・青葉福祉会地域共生社会推進事業の創設に向けた検討を行う。
- ・法人間連携の在り方について検討する。
- ・認定就労訓練事業、居住支援法人事業の充実を図るとともに、施設ごとに地域のニーズに沿った公益的取組を実践する。

7. 新型コロナウイルス対策

- ・新型コロナウイルス対策本部を中心に感染予防対策を実施するとともに、事業所毎に策定した新型コロナ対策 BCP を適切に活用し、コロナ禍での事業継続を図る。

以上